



益々のご活躍を！～2018年度永年功労表彰式～

5月12日(土)千葉市生涯学習センター会議室において、2018年度永年功労表彰式を開催いたしました。

昨年度から10年表彰は記念品を送付し、20年表彰と30年表彰は当日ご出席いただきました表彰者の皆様に山岸委員長より記念品として表彰盾が贈られました。残念ながらご都合でご欠席された方々には後日発送にてお届けいたしました。

＜10年表彰者＞190名(記念品として10年表彰トスコインを送付)

＜20年表彰者＞相沢 弘幸氏、石井 光信氏、小泉 浩史氏、篠田 実男氏、田中 英男氏、山野邊 泰洋氏

＜30年表彰者＞柿沼 輝信氏、齋藤 孝一氏、鷺 慎一氏、櫻井 得雄氏、相岡 浩康氏、鈴木 正則氏、高橋 健志氏、長嶺 和男氏、藤枝 良爾氏、藤田 直行氏



当日ご出席いただいた皆様

前列左から 相岡氏、櫻井氏、山岸委員長、鷺氏、齋藤氏、柿沼氏
後列左から 長嶺氏、藤枝氏、相沢氏、藤田氏、石井氏、田中氏、篠田氏、鈴木氏

目次

・2018年度永年功労表彰式	・・・1～4	・昇級者のみなさま紹介	・・・10～11
・決勝審判の紹介	・・・4～5	・レフェリーフィットネスコラム	・・・11～12
・決勝審判インタビュー	・・・5～6	・推薦審査、昇級認定審査のお知らせ	・・・12～15
・今日も地域で頑張っています！！	・・・7～9	・アンケート結果のご報告	・・・15
・ユース&若手審判員研修会開催	・・・9	・更新講習会のお知らせ(フットサル)	・・・16
		・その他お知らせ	・・・16

表彰者の皆様よりお言葉を頂戴しましたのでご紹介いたします。

《20年表彰者》



● 相沢 弘幸(あいざわ ひろゆき)

本日はありがとうございます。銚子地区で審判活動をしています。顕著な功績はありませんが、長年続けてきたことに対して表彰していただき感謝申し上げます。この表彰は私個人だけでなくこれまで私を支えてくれた家族、職場、地域の仲間皆の表彰と思っています。3級取得時に始めたランニングが趣味になりこれまで近隣のマラソン大会に50回余り出場しています。微力ですがもう少しだけ(笑)活動していきたいと思っています。



● 石井 光信(いしい みつひと)

息子が小学校1年生からサッカーを始めて、所属先のクラブの応援で「お父さん一緒にサッカーの指導をしませんか？」からの審判取得で息子に付いて試合に帯同するようになり、高学年になると白熱した試合の経験もしましたが、終了5分前に終了のホイッスルを吹く始末で先輩が第4審判だったので、(私に合図で早い、言葉で早いよ～～?)で右手の時計を見て(汗)ごめん続けましょう!と言った事を覚えています。両チームには平謝りした事は忘れません(習志野 秋津のグラウンドです)数年すると3級を受けてみないかとチーム(旧生浜FC現在HAMANO FC)からお話を頂き審判研修を宿泊で行ったり、(上級者だけですが副審をさせて頂いたりして3級試験へ、今でも覚えています。試験時にはみなさん暖かく特に12分間走時には当時社会人審判をしていた矢作さんが審判しながら【がんばれ!】応援してくれたし、岡田様、呉羽様、高萩様、笠川様には応援やら叱咤激励やら”今のイエローじゃあないの??”とかいろいろ指導を受け、小学生、中学生、社会人、1部、3部 シニア層まで走り続けて今日に至ります。(早いです)

本日に千葉県、習志野市、市川、船橋、浦安、東総、佐倉、成田サッカー関係者の皆様大変ご迷惑をお掛け致しました。審判歴22年61歳、多少の間違いは許して?があるかも知れませんが年齢でお許しを。。。本日は本当にありがとうございます。今後も宜しくお願ひ致します。



● 篠田 実男(しのだ じつお)

袖ヶ浦市の平川サッカークラブで約30年間、子供たちと一緒に楽しく活動してまいりました。振り返ってみるとチームの立ち上げの時から審判活動に携わり、最初の公式戦の審判では緊張しながらやったことを思い出します。また、週末には競技規則をめぐって、こんなことが起こったらどうしよう?と、シミュレーションをしておりました。あと何年出来るかわかりませんが、初心を忘れずに準備を行い、子供たちの役に立てたら、と思っております。本日は本当にありがとうございました。



● 田中 英男(たなか ひでお)

現在千葉市の4種で活動を行っております。こちらに出るきっかけとなったのが、旧知の仲である習志野市の大日向さんが昨年表彰されているのをレフェリーニュースで目にして、私も調べてみたところ25年以上活動しており、今回応募させていただきました。私の審判取得のきっかけは、社会人で選手をするときに、審判資格を持っていないと登録してもらえなかったことから取得し、現在もシニアで、またコーチとしても活動して今に至っております。微力ですが、今後も子供たちの力になれるよう活動していけたら、と思っております。今日はどうもありがとうございました。

《30年表彰者》



● 柿沼 輝信(かきぬま てるのぶ)

早いものでもう30年が過ぎました。振り返ってみると、先輩から資格を取るよう言われて初めたのですが、自治体の大会に選手として出た時に不可解な判定などもあり、自分も奮起して同じ色のワッペンを取って、正確なレフェリングを目指して頑張ってきました。その後、日本代表やオリンピック代表の練習試合や、Jリーグ開幕当初は第4審判なども担当させていただき、いい事もたくさんありました。あとどれくらいできるかわかりませんが、これからも千葉県のために頑張っていきたいと思っています。本日はありがとうございました。



● **齋藤 孝一(さいとう こういち)**

現在は成田市サッカー協会で副理事長をしています。私が資格を取ったのはJFAの常任理事である松崎さんに成田市の協会として必要だからと、そそのかされまして(笑)、それからとなります。その後3級となり、上位も目指したのですが仕事の都合上、難しくその後は指導の方を担当しています。これからは身体が動く限りは頑張っていきたいと思います。ありがとうございました。



● **鷺 慎一(さぎ しんいち)**

流山市の初石少年サッカークラブに所属し、今年で33年になります。クラブではみんなで4級の資格を取り、その後3級に昇格しました。C級のコーチ資格も取り、主にコーチをメインに活動してきました。その後、流山市少年サッカー連盟の審判担当理事になり、その頃から多くの審判仲間と知り合い、中学生の大会なども担当させていただき活動範囲が広がりました。本当に感謝しています。また、うちの家内も3級審判員で、家に帰ると二人で反省会をしています(笑)。ありがとうございました。

先日のスプリングカップでは私も旗を振り、「最年長記録では？」と言われました。まだ現役で頑張りますし、今年のネンリンピックでは、選手として参加する予定です。これからも多くの方々と協力して審判活動をしていきたいと思ひます。ありがとうございました。



● **櫻井 得雄(さくらい とくお)**

千葉市の3種に所属しています。最近、公式戦は若い人に審判を任せていますが、



● **相岡 浩康(すぎおか ひろやす)**

船橋市の相岡です。本当に長いようで短い30年でした。審判活動を通じてたくさんのサッカー関係者と知り合いになれた事が私の一番の財産です。県委員会のみなさん、船橋市のみなさんに感謝いたします。これからもよろしくお願ひします。

の顧問になったのがきっかけで、浦安市をスタートにその後市川市で3種を担当させていただきました。現在は船橋市の高校に勤務しております。指導者の資格をB級まで取得させていただき、審判も2級を目指した時期もありました。子供たちのために今後も審判と指導の両輪で頑張ります。ありがとうございました。



● **鈴木 正則(すずき まさのり)**

中学校の教員に採用されて、サッカー部の顧問になったのがきっかけで、浦安市をスタートにその後市川市で3種を担当させていただきました。現在は船橋市の高校に勤務しております。指導者の資格をB級まで取得させていただき、審判も2級を目指した時期もありました。子供たちのために今後も審判と指導の両輪で頑張ります。ありがとうございました。



● **高橋 健志(たかはし けんじ)**

大学2年生の時に東京都リーグで資格が必要になり取りました。当時、監督の教授が永嶋正俊先生で元国際審判ということもあり審判に対する考え方に大きな影響を受けました。卒業後、千葉市に教員として採用され、サッカー部の指導と審判活動を両立して2級まで取得することができました。指導者と審判の両立は大変でしたがお世話になった方々への恩返しと思い頑張ってきました。私の息子が幼稚園児の時、馬場さん(現山岸委員長)にサッカーを覚えてもらうなど、楽しい思い出がたくさんあります。これからもよろしくお願ひします。



● **長嶺 和男(ながみね かずお)**

1986年クラブ創設と共に審判の資格が必要ということで取りました。その頃から30年頑張ってきましたが、これも委員会はじめみなさまのおかげと思っています。今はインストラクターの方で皆さまとお会いする事が多いですが、今後も身体の動く限り頑張っていきます。



- **藤枝 良爾(ふじえだ りょうじ)**

我孫子市から来た藤枝と申します。ずーっと4級でここまで来ました。教員となり昭和56年に資格を取って、部活動の顧問と両立してきました。今日、この場に出られたのは、教え子が我孫子市の中学校の顧問になり「先生も長くやっているのだから、表彰をもらえるのでは？」と推薦されたおかげです。おかげさまで、教え子が何人か中学校のサッカー部の顧問になり、千葉県サッカーのために少しは貢献できたかな？とっております。これからも出来る限り現場で、子供たちの前で頑張りたいと思います。ありがとうございました。



- **藤田 直行(ふじた なおゆき)**

浦安で現在も審判活動しています。審判は子供の入った少年チームで帯同審判が必要とのことで始めたものです。当時、浦安にはきちんとした組織もなく、4種の仲間でサッカー協会少年部や審判部を作り活動を始めたわけですが、その後、県の委員会でも活躍される方が出てきて、少しはお役に立てたかな？とっております。私は赤いちゃんちゃんこを着てから7年経っていますが、現在も健康で活動できるのは審判のおかげとっております。県の委員会の皆さまや、仲間たちにも感謝しております。本日はありがとうございました。

当日、都合によりご欠席された方々からメッセージを頂きましたので、ご紹介いたします。

- **小泉 浩史(こいずみ ひろし)**

私が大学生の時に選手として入部していたチームが関東大学リーグに所属していた事がきっかけで審判員の資格を取りました。東京都で4年、千葉県で20年、関東大学サッカーや県社会人サッカーでレフェリーを続けられました。多くの方々の協力があって今回20年の永年表彰を頂く事ができました。この場をお借りして御礼申し上げます。現在はサッカーをプレーする事もレフェリーをする事も厳しくなりましたが、これからもサッカーを楽しみたいと思います。

- **山野邊 泰洋(やまのべ やすひろ)**

どうしても審判を担当することになり、試合はPK戦となり任務がおぼつかなく、以来連続して審判資格を更新。近頃の楽しみは配布されたサッカー競技規則の読破や孫のサッカー観戦です。長年のサッカーに感謝です。

表彰された皆さま、長年に渡り千葉県のサッカー会に協力していただき、ありがとうございました。表彰式では様々な思い出話を聞かせていただき、和やかな雰囲気でした。是非、来年度も多くの方々の参加お待ちしております。